

彫刻家 上床 利秋

## 四人の女性親衛隊

故人の胸像を制作するときは、生前の遺された写真や動画をもとに粘土で原型をつくる。

資料は多いほど良いのだが、生前最も活躍された元気な頃がいい。でも、そう考えて制作を進め、私の方では人らしい造形が出来たと思っていても、依頼した側からすると要求要望ができてきて改善することは珍しいことではない。



霧島市 杉アトリエにて 令和4年6月



創業者 光和男氏像

三陽工業株式会社新本社工場エントランス

ブロンズに成形されてからも気持ち良い思い出になるように、私はアトリエで粘土原型を前にして、依頼者と一緒になって完成を目指すことにしている。

今回の光和男氏胸像制作については大阪から四人の親衛隊を自負されるおじいちゃん大好き御一行様が来てくださった。奥様、お嬢様、中学生高校生のお孫さんたちである。きつと故人がこの四人については特に大事にされていただろうことを、話を聞きながら思う事だった。3時間の制作があつという間に過ぎた。私としては精一杯要求に沿った造形ができるように頑張ったつもり。最初は皆さんの思いをそれぞれ把握しようと焦ったけれど、時間が経つにつれ、相互理解が深まり共に納得できる胸像に仕上がっていった。

確かに「おじいちゃん」はいい男になった。作品としても芸術性が高まった。親衛隊の熱い思いを知り、私なりに共感し感動することが出来たのがよかったのだと思う。

2022年10月